

「提言型政策仕分け」 提言を受けた各府省の取組

担当府省名	国土交通省				
番号/テーマ	A4-1	分野名: 中長期的な公共事業のあり方			
提言	既存ストックの維持管理・更新については、①民間資金の一層の活用を図るとともに、②重点化や長寿命化を図りつつ、見通しを立てた計画的な更新を行うべき。				
個別項目	検討状況		実施スケジュール	既の実施済/達成した事項	詳細資料
	検討方法	検討の方向性			
①民間資金の一層の活用を図る	<p>民間資金の一層の活用を図るため、平成24年度予算で先導的官民連携支援事業等の予算計上をしているところであり、これを通じて、</p> <p>地方公共団体等及び民間事業者から広く官民連携案件の提案を募集し、外部有識者からなる第3者委員会の意見を踏まえて、</p> <p>①支援対象事業を選定、 ②PPP(官民連携)/PFI事業の運用上の検討課題を抽出。</p> <p>その上で ①支援対象事業について地方公共団体等が官民連携事業導入の検討に要する調査委託費の助成 ②具体的な案件を題材・参考とした運用上の検討課題の調査を実施。</p>	<p>厳しい財政状況の中で民間資金の活用を拡大し、真に必要な社会資本の整備及び維持管理を着実にを行うため、PFI法改正によって新たに導入された公共施設等運営事業をはじめとする先進的なPPP(官民連携)/PFI事業等を推進する。また、東日本大震災による被災地の復興における官民連携手法の活用を促進する。</p>	<p>平成24年度においても、平成24年度予算を適切に執行し、</p> <p>①PPP/PFI事業による社会資本の整備・管理に向けた運用上の課題等の調査、 ②先進的取組等に係る支援、 ③東日本大震災からの復興の基本方針を踏まえ、PPP/PFI事業を活用した復興事業を実施する被災地の地方公共団体等への支援を実施していく。</p>	<p>平成24年度政府予算案において、先導的官民連携支援事業等として、約8億円を計上(復興予算に計上した国土交通省関係事業(約2億円)を含む。前年度比1.27倍)。</p>	<p>【PPP/PFIの具体的な案件形成等の推進(平成23年度)】 http://www.mlit.go.jp/soogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_fr1_000001.html</p>
②重点化や長寿命化を図りつつ、見通しを立てた計画的な更新を行う	<p>○既存ストックの維持管理・更新の重点化や長寿命化、見通しを立てた計画的な更新については、検討中の「社会資本整備重点計画」の見直し作業の中で、「選択と集中」の基準の一つとして議論。</p> <p>・社会資本整備審議会・交通政策審議会計画部会(法定審議会) ・福岡捷二計画部会長(中央大学研究開発機構教授)、他25名 ・重点計画については、平成22年7月よりこれまで10回、計画部会を開催。 ・今後、24年夏をメドに計画の案を作成し、閣議決定を図る。</p>	<p>・既存ストックの維持管理・更新にあたっては、施設に応じて損傷等が発生した後に対策を行う「事後的管理」と、早期発見・補修により施設全体の長寿命化を図る「予防保全的管理」の適切な使い分けをより一層進め、LCC低減を図るため、計画的に対策を行うことが重要である。そのため、長寿命化計画の策定や、その計画的な実施、人材育成、担い手の確保・育成、技術開発等を推進する。</p> <p>・なお、維持管理・更新費用をより適切に算出する方策の一つとして、作業の効率性等にも配慮しつつ、地方公共団体に係る分野も含めた施設の実態把握等について検討を進める。</p>	<p>平成24年夏目処に閣議決定を目指している新たな「社会資本整備重点計画」の策定と並行して、左記についての施策の具体化を進めていく。</p>	<p>社会資本の維持管理・更新を適切に実施するため、施設の補修対策の内容、点検の時期等を記載した長寿命化計画の策定や、その計画的な実施、人材育成、担い手の確保・育成、技術開発等に取り組んできたところ。 ・国土交通省所管の社会資本を対象に、過去の投資実績等を基に今後の維持管理・更新費用を推計してきたところ。</p>	